

特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹 令和 5 年度総会議事録

1. 日 時 令和 5 年 9 月 3 日(日) 14 時～15 時 30 分
2. 場 所 間伐材工房 元樹
3. 出席者数 8 名(内委任状 4 名) 会員の 1/2 以上となり成立した。
4. 配布資料
 - ① 令和 5 年度総会次第
 - ② フォレストサイクル元樹「2022 年度決算&事業報告書」(案)
 - ③ 2023(令和 5 年)年度事業計画書 (案)
 - ④ 2023(令和 5 年)年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書(案)
5. 審議事項
 - 事案第 1 号 2022 年度事業報告及び収支決算報告(承認)
 - 事案第 2 号 2023(令和 5 年)年度事業計画及び収支予算 (承認)
 - 事案第 3 号 本年度の活動と事業について (協議・承認)
6. 議事経過の概要及び議決の結果

開会の言葉 理事 辻 博之

挨拶 理事長 蛇口昌俊

令和 5 年度総会となります。長期間様々な制約を受けながらの社会生活だったが、5 類移行によりほぼコロナ前の日常に戻りつつあるも、各々で引き続き予防対策は必要である。それ以上に本年は、ついひと月前迄は法人解散も視野に、窮状を脱する打開策を模索しながら日々活動をしていました。その辺を中心に、本日令和 5 年度総会で今後の事業展開を図りたいので、審議の程よろしくお願ひします。

議長選出

定款に沿って、理事長である蛇口昌俊が議長を努める事を宣し、議長は理事会成立の要件を満たしていることを出席者に説明し会議成立を宣言した。

議事録署名人の選出

議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるに当たり、議事録署名人 2 名を選任したい旨を諮った結果、阿部誠さんと辻博之さんの 2 名が満場一致で選任された。書記の選出は、村上智彦さんが選出された。

審 議

事案第 1 号 令和 4 年度(2022 年度)事業報告及び収支決算報告(承認)

初めに議長より配布資料②の決算書・事業報告書の内容についての説明がなされた。全体の事業収益は、期を半分折り返した段階での予期せぬ大口需要が、矢巾農協より

舞い込んだ影響で、多少の赤字計上に留めることが出来ました。提携農家へのホダ木出荷量が半減する事が確定した中で、前年比の半分以下の出荷量になる予定が、突発的な6,000本の需要が発生し且つ、薪の出荷量も前年度を上回った為、森林保全事業のみ(自力収益)で全体の49%を達成。工房運営事業も単発的受注ではあるが、新宿の三越伊勢丹デパートの、クリスマスツリー用木製オーナメント制作委託に加え、東京の宝飾品販売事業者からの制作委託の他、大径木丸太の水中貯木実証実験委託等、委託業務3件に加えて、毎年発注がコンスタントにある“間伐材ログキッズ”の複数受注など合わせた、工房運営事業収益も前年を上回った。唯一、昨年丸1年をかけ完成させた「いわての森の恵み缶&いわての森や街に生きる樹木」の普及が全く進まなかった事と、「木のたまごプール」を始めとした、たまご関連品の普及が全く進んでいない事が今後の大きな課題である。

上記の質疑応答・審議後、令和4年度決算書及び事業報告書は満場一致にて承認された。

事案第2号 令和5年度(2023年度)事業計画及び収支予算(承認)

議長より、資料③につき説明があり、満場一致で承認された。

- ① 7年目を迎える、岩泉町でのホダ木生産事業の負の状況や課題が報告された。
現時点でのホダ木注文は、昨年同等の約10,000本。矢巾中央農協は一昨年2,000本昨年6,000本、今年度8,000本と毎年拡大しており、今後とも継続の手応えは大きい。逆に、注文に応じた収量を確保できるかが大きな課題であり、次年度以降を見据えたコナラ密集地確保及び作業路の整備が直近の課題であり急務である。今年度から着手しながら注文収量をクリアしてゆき、且つ用材としての広葉樹確保についても、仕組と用途・販路を確立して行きたい。
- ② 本年度からようやくスタートした鮮度の高い情報を、定期的に継続的に発信して行く体制と意識を確立して行く。ブログ・Twitter・Instagram等のSNSを活用して、工房制作の各種木製品の画像や動画を、活動内容を発信し法人のファン・顧客作りに繋げて行く。
- ③ 本年度に入ってから新たに開発した小型遊具、「森のブーブ3種&森のままごと台」の幼保施設や一般家庭への普及拡大を目指し、遊び体験を含めた積極的なアプローチを幼保施設・行政・商業施設・一般家庭に向け、機会ある毎に継続的に実施し、普及させる。年度内の普及活動に注力し、年明けの東京ビックサイト「モクコレ2024」でもアピールし定番品に押し上げる。
- ④ 直近3年間で、法人として圧倒的な「時間とコスト」を掛けて完成させてきた、「木のたまごコロロ」関連商品である、「木のたまごプール・木のたまご缶詰・樹木図鑑」が全く出ていない。それ単独ではなく、別の何かとのコラボ等様々な可能性を模索しながら普及に繋げて行くとともに、情報発信の定期継続的に実施して行く。
- ⑤ 令和5年8月にHPストアより奇異なorderが発生し、今後の法人事業の大きな展開に繋がる兆しが見えてきました。全国の幼保施設や商業施設、児童施設を顧客に持つ、輸入遊具販売&園庭施工の国内最大手「株式会社アネビー」から、木製遊具加工作業

委託の打診が来ており、既に代表者との WEB 会議を経た後、初回複数 set の加工を終え製品の納品も完了しました。対象商品は「ドリームログ」の名称で自社製作・販売を、平成 15 年から実施している商品で、当会の“間伐材ログキッズ”と仕様・用途・サイズともほぼ同じのものであり、外材の支給材を加工するという話である。どの位のスパンでの想定をしているかは未確認も、80set 分相当の木材は調達済みであり、当会は「加工のみ」お願いしたいとのこと。現時点では確定ではないが、手始めにログの加工の形で取引を開始したいとの意向。多樹種多形状の「木のたまごプール」にも大きな関心がある事を会議の席上伝えられ、当会の活動自体を高評価している様子。

9月4日(月)以降に今後の展開がハッキリする予定が想定されるが、この大きなキッカケを慎重に、大事に扱い新たな展開に繋げてゆきたい。

上記について質疑応答・審議後、令和 5 年度事業計画及び収支予算は満場一致にて承認された。

事業第 8 号 本年度の活動と事業について (協議・承認)

議長より、本年度スタート段階では法人解散も充分あり得る大幅な収益減の状況下で活動をスタートしました。補助金や助成金も本年度は初めてゼロの中で動いております。活動当初から目指していた、補助金や助成金に頼らない法人運営を、奇しくも今年度は実践している年です。同様に、今迄製作してきた各種木製品は、何か「キッカケ」さえあれば、新たな展開を図れる筈と信じてきました。株式会社アネビーからの「ドリームログ加工委託」及び、矢巾中央農協からの「大口ホダ木発注」は、正にそのキッカケに成り得ると思っております。今年からようやく実現した、木製品紹介を含めた新鮮な活動情報の定期継続的な発信の他、法人設立当初の初心に戻り、幼保施設への遊び体験を含めた直接的なアプローチにより、法人のファン・工房製品のファンを増やしてゆく事に注力してゆきたい。

また岩泉町の森林整備活動についても、今迄に手をつけたのが管理地全体の 30%弱で、まだ全く植物相や作業路の状況が不明の森林がかなりある為、今後のホダ木大口需要や、

広葉樹の新たな活用の為にも、調査を随時実施して行く予定です。

上記について、意見交換・質疑応答がなされ、審議後、満場一致で承認された。

閉会のことば 辻理事

令和 5 年度の事業活動についても、会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和 5 年 9 月 3 日

議長
議事録署名人
議事録署名人

阿部 誠
辻 博之
阿部 誠
阿部 誠